

従業者向け

保育所等訪問支援評価表

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		個別性に配慮した教材準備を行っており、今後利用開始後に適切性を検証していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に基づいた職員配置を行っており、今後利用状況に応じて、随時見直していきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で目標設定と振り返りを行い、PDCAサイクルを意識した運営を行っていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		現在利用はありませんが、開始後は保護者評価を活用し改善につなげていきます。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で意見交換の場を設け、業務改善につなげる体制を整えていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		利用開始後、外部評価の機会を設け、業務改善に活かします。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修参加や講師として参加し、資質向上に努めています。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用開始後、適切なアセスメントに基づき支援計画を作成します。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		関係職員間での共通理解のもと、支援計画を作成する体制を整えています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先との関係を前提に計画作成を行う準備をしています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で計画の共有・計画に沿った支援の実施体制を整えています。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマル・インフォーマル双方のアセスメントを実施出来る準備があります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づいた、具体的支援内容を設定する体制を整えています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の共有と実施について、職員間で確認体制を整えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前の打合せを行う運用を想定して準備しています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援後の振り返りを行い共有する体制を整えています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の意向を尊重した支援を行う方針です。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		記録を徹底し、検証・改善につなげる体制を整えています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		モニタリングと計画見直しを6ヶ月以内に行う仕組みを整えています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		会議等に参加し、情報共有できる体制を整えています。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		関係機関との連携体制を構築中です。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		移行時の情報共有を行う体制を整えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		札幌市自閉症・発達障がい支援センターや外部専門家から助言を受けられる体制づくりを進めています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		自立支援協議会に参加し地域との関係をしています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		保護者との情報共有、共通理解を大切にする方針です。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		事業所にてペアレントメンターを招いた茶話会を年2回開催予定です。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に利用規約等の説明体制を整えています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先への事業説明を適切に行う準備があります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		子ども・保護者の意向確認を重視した計画作成を行います。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画説明と同意取得の流れを整備しています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談対応を行う体制を整えています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		事業所にてペアレントメンターを招いた茶話会を年2回開催予定です。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		相談・苦情対応の体制を整備しています

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	ブログやSNS等で情報発信を行う体制を整えています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報保護に十分配慮した管理を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	意思疎通や情報伝達への配慮を行う方針です。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	訪問先からの相談に対応できる体制を整えています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	支援後に訪問先とのカンファレンスを行う予定です。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	家族へのフィードバックを行う体制を整えています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の適切な管理を徹底しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的助言を行っているか。	○	信頼関係を築きながら専門的助言を行う方針です。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを整備し、訓練実施しています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全管理体制を整えた上で支援を行います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	支援会議内でヒヤリハットの共有・再発防止策の検討をしています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	6ヶ月以内に虐待防止研修を行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束に関する基準を明確にし、説明・同意のもと記録する体制を整えています。